

全国学力・学習状況調査の事前対策について

学びの改革支援課

1 調査について

- ・調査期間：11月10日（木）～15日（火）
- ・調査対象：全国学力・学習状況調査の実施に携わった小学6年担任（教科担任制の担当教員）
 中学3年国語、数学、理科の教科担任　およそ1600名【78.6%（1257名）が回答】
- ・調査方法：インターネットを介して該当教員が直接回答
 ※学校名や教員名等の記入欄は無く、個人は特定されない方法で実施

2 調査結果

	質問項目	全体（1257名）	小学6年（486名）	中学3年（771名）
①	授業等で過去の調査問題等に取り組みさせる等の事前対策を行いましたか	<p>はい 2.2% いいえ 97.8%</p>	<p>はい 4.3% いいえ 95.7%</p>	<p>はい 0.9% いいえ 99.1%</p>
②	調査結果の分析や過去の調査問題の活用等による授業改善を行いましたか	<p>いいえ 17.4% はい 82.6%</p>	<p>いいえ 14.6% はい 85.4%</p>	<p>いいえ 19.2% はい 80.8%</p>

3 調査結果を受けて

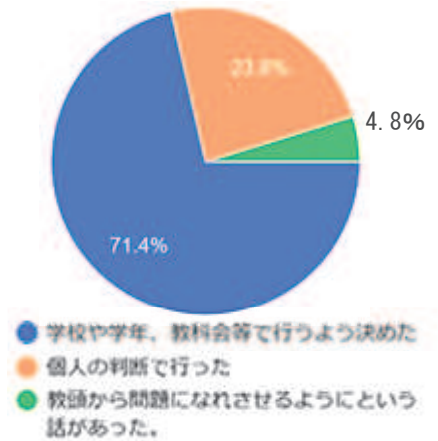
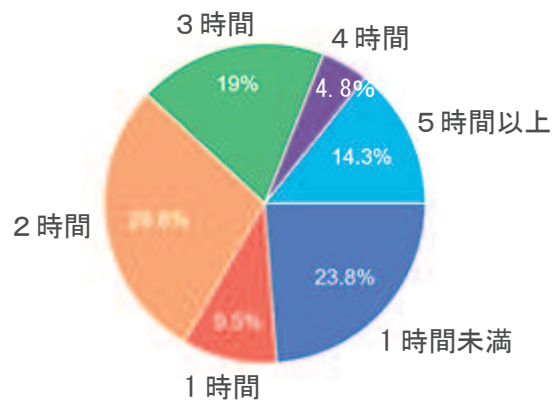
- ・全国学力・学習状況調査の目的は、「児童生徒の今の学習状況を把握し、授業改善や個別指導に活かすこと」であることから、調査の正答率を実力以上に高くすることを目的に、過去問題等に取り組みさせる事前対策は本目的に反すると考える。このような事前対策を行った教員は2.2%（1257名中28名）と極少数であった。
- ・児童生徒質問紙の「解答時間は十分でしたか」の質問に対し、例えば小学校国語では県内児童の3割弱が「時間が（やや）不足した」と回答をしている。調査問題は、普段は解いたことのない形式の問題が出題されることから、問題を解くのに戸惑った児童もいることが推測される。授業時間に過去の問題等に取り組みさせる事前対策は不要であるが、児童生徒が戸惑うことなく今の実力を発揮できるようにする配慮は必要と思われ、これらのことを校長会等を通じて周知してまいりたい。
- ・調査結果の分析に基づいた授業改善や、調査問題を活用した授業づくりを行った教員は82.6%であった。すべての教員が調査を活用した授業改善を行うよう努めてまいりたい。

参考

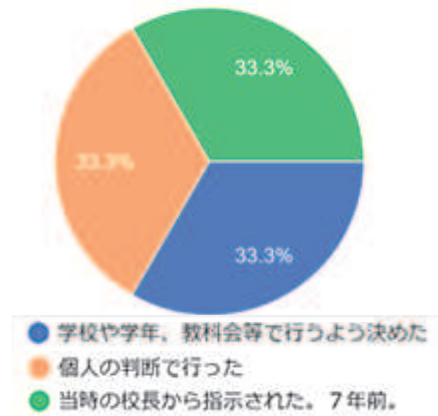
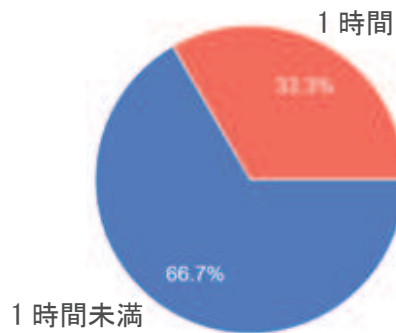
事前対策は何時間行ったか

行った理由

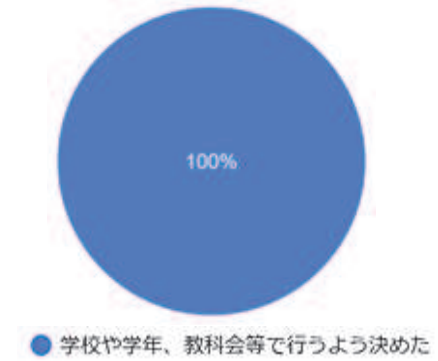
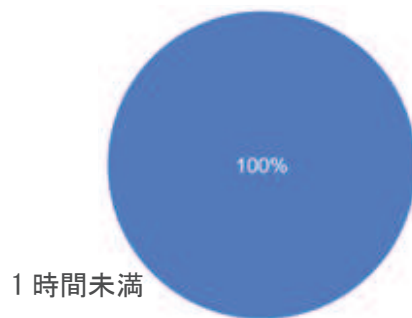
小学校 6年
(21名)



中学 3年国語
(3名)



中学 3年数学
(3名)



中学 3年理科
(1名)

